

免税事業者の消費税 請求判断 チェックリスト

1. 免税事業者に該当するかの判定

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	基準期間が「個人は前々年、法人は前々事業年度」であることを確認した
<input type="checkbox"/>	基準期間の課税売上高が1,000万円以下であることを確認した - 基準：1,000万円を超える場合は、原則として課税事業者となる
<input type="checkbox"/>	特定期間が「個人は前年1月1日から6月30日、法人は前事業年度開始日から6か月」であることを確認した - 基準：前事業年度が1年未満の場合は特定期間が変わり得る
<input type="checkbox"/>	特定期間について、次のいずれかで1,000万円超かを判定し、採用した判定軸を記録した <input type="checkbox"/> 課税売上高で判定した <input type="checkbox"/> 給与など支払額で判定した - 補足：上記の基準で判定するかは任意
<input type="checkbox"/>	特定期間の判定結果が「1,000万円超」ではないことを確認した - 基準：特定期間が1,000万円超の場合、基準期間が1,000万円以下でも納税義務は免除されない

2. 取引先が困るポイントの把握

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	取引先が課税事業者かを確認した - 補足：課税事業者の場合、仕入税額控除の可否が取引条件に影響する可能性がある
<input type="checkbox"/>	取引先が課税事業者の場合、免税事業者などからの仕入れに係る経過措置の扱いを確認した <input type="checkbox"/> 2023年10月1日から2026年9月30日：仕入税額相当額の80%が控除対象 <input type="checkbox"/> 2026年10月1日から2029年9月30日：仕入税額相当額の50%が控除対象 <input type="checkbox"/> 2029年10月1日以降：上記の経過措置は適用されない
<input type="checkbox"/>	取引先が「インボイスが必要」と求められた場合、理由が次のどれかに該当するかを確認した <input type="checkbox"/> 社内ルールで適格請求書がない仕入れを制限している <input type="checkbox"/> 経過措置の縮小に合わせて取引先を整理している <input type="checkbox"/> 取引先の説明が不明確で、単に様式だけを求めている

3.自社の請求方針の選択

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	次の3案のうち、本件で採用する方針を選択した <input type="checkbox"/> 方針A：免税事業者のまま、消費税相当額を含む価格で請求する <input type="checkbox"/> 方針B：免税事業者のまま、消費税相当額を上乗せしない価格で請求する <input type="checkbox"/> 方針C：適格請求書発行事業者として登録し、課税事業者として請求する
<input type="checkbox"/>	方針Aまたは方針Bを選ぶ場合、次を理解した 「免税事業者でも、取引価格として消費税相当額を含めた価格で請求すること自体は禁止されていない」
<input type="checkbox"/>	方針Cを選ぶ場合、次を理解した 「登録後は課税事業者として、適格請求書の交付などの義務を負う」

4. 請求書の表示ルール 誤認リスクの排除

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	<p>自社が「適格請求書発行事業者ではない」状態で、次の表示をしないことを確認した</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 登録番号の記載<input type="checkbox"/> 「適格請求書」「インボイス」「適格」「登録事業者」など、適格請求書だと誤認されるおそれがある文言 <p>- 補足：適格請求書発行事業者以外が、適格請求書と誤認されるおそれのある表示をした書類を交付することは禁止され、罰則対象となる</p>
<input type="checkbox"/>	<p>消費税相当額を記載する場合、次の形式のどれかに統一した</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 「請求金額（総額）」のみを記載し、税額を区分表示しない<input type="checkbox"/> 「本体価格」「消費税相当額」「合計」を記載するが、登録番号は記載しない <p>- 補足：免税事業者が消費税相当額を記載しても、誤認されるおそれなければ基本的に罰則対象ではない</p>
<input type="checkbox"/>	<p>取引先に送る文言を、次のどちらかで固定した</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 当方は適格請求書発行事業者ではありません<input type="checkbox"/> 適格請求書の交付はできません <p>- 補足：取引先の誤解防止として、表示ルールとセットで運用する</p>

5.取引条件見直し時の公正取引リスクの確認

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	<p>取引先からの値引き要求や条件変更がある場合、次の要素を記録した</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 要求内容<input type="checkbox"/> 要求理由<input type="checkbox"/> 合意までの経緯 <p>- 補足：取引条件の見直し自体は直ちに問題ではないが、優越的地位の濫用として問題になり得る行為が整理されているため、経緯を残す</p>
<input type="checkbox"/>	<p>次の行為がないことを確認した</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 一方的な代金減額<input type="checkbox"/> 取引継続を背景にした不利益な条件の強要<input type="checkbox"/> 合理的な説明なしの値下げ要請 <p>- 補足：具体の行為類型は優越的地位の濫用として問題となるおそれがある</p>

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	免税事業者であることと、適格請求書を交付できることは別問題である
<input type="checkbox"/>	「誤認されるおそれのある表示」を避けるため、登録番号と適格請求書を想起させる文言を排除した様式を使用する
<input type="checkbox"/>	経過措置は日付がずれると判断を誤るため、80%と50%の期間を請求方針の前提として毎回確認する
<input type="checkbox"/>	取引条件変更は、合意形成の経緯を残し、優越的地位の濫用の論点が出ない形に整える

※2026年3月時点の情報をもとに作成しています